The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 26 | Issue 3 | March 2023

今号では・・・

▶02...新校舎建設Update！
▶02...KISTでのマスクガイドライン
▶04...エレメンタリーコーヒーモーニング
▶05...ESRCアップデート
▶06、07...PYP Exhibition 2023年
▶08...KIPSニュース
▶11...IGCSEでの効果的な学習習慣
▶12...G11経済学履修学生の振り返り
▶12...KIST における癌への活動
▶13...失敗を成功に変える
▶14...ディベートクラブ
▶17...I&S部門から

> 学んだことが今の自分自身を形作る
>
> —Author unknown

学校長より

公共の場での生徒の行動

ここ数ヶ月、KISTの生徒について、学校外の方々から様々なご心配をいただいています。これらの懸念は、地下鉄の乗客、都営バスの乗客、地元のお店のお客さんから寄せられたものです。そのうちいくつかは生徒には保護者が同伴していることが報告されています。多くの懸念は次のような行動です。

公共交通機関で

- 公共交通機関での行動：駅構内を走る
- 大きな声で話す
- 食事をする
- 優先席への着席

地元のお店で

- お店の前での滞留
- 店舗内通路の混雑
- 座席を独占する

KISTの生徒かどうかは制服により見分けがつきます。生徒が不適切な行動をとると、学校全体の印象が悪くなり、学校の評判を落とすことになりかねません。私たちの目標は、すべての生徒が登下校時に KIST の模範行動を知り、理解できるようにすることです。これらの期待事項はホスト国である日本の文化的規範に基づくものです。

KIST Progression Criteria（進級・進学基準）によると、プログラムの進級・進学を満たすためには、生徒は一貫して自分自身と他人を尊重し、責任を持ち、安全に判断することができていることを証明しなければなりません。これには、学校への行き帰りの登下校中も含まれます。また、保護者が学校の使命、ビジョン、指導方針、学校方針に対する理解を示すことが期待されています。

登下校中のすべての生徒を監視することはできませんが、各家庭では、お子さんが日本で期待される文化的規範を理解し、それに従うことができるようにすることは可能です。保護者の直接の監督下にない生徒は、校舎を出た後、直接帰宅することになっています。生徒が適切な行動を取れるよう、生徒と保護者の皆様のご協力をお願いいたします。さらなる明確な説明は、KIST Student Code of Conduct（KISTにおける行動規範）に記載されています。

Kevin Yoshihara Ed.D.
Head of School/Elementary School Principal

重 要 な 日 程

2023年3月

11 SAT@KIST
17 (S) Quarter 3 reports issued
21 School day
21 (S) Q3 Parent/Teacher/Student interviews (*Afternoon)
21 Student-led conferences
21 (G8) IGCSE options session
25-Apr 2 Spring vacation

2023年4月

3 School resumes for all students
3-21 (G1-G5) English/Mathematics diagnostic testing
3-11 (G10) IGCSE mock examinations
11 School photographs (for new and absent students)
12 (G9) PSAT
14 (K1/K2/K3) Cross country (*Morning)
14-28 (G1-G5) Writing diagnostic testing
17-21 (G5) G6 Extended foundation math 1st test
18-19 School musical
20 (K1/K2/K3) Kindergarten concert rehearsals
21 (K1/K2/K3) Kindergarten concert (@Fukagawa) (*Morning)
21 (G12) Last day of classes
24-28 (G12) DP study week
28-May 19 (G12) DP examinations
29-May 7 Golden Week vacation

新校舎建設Update！

今学年度に入ってからは三者面談会やCoffee morning、各種保護者セッションなど、ほとんどのイベントを対面開催できるようになり、校内で保護者の皆さまの姿を見かけることが増えて嬉しい限りです。新校舎建設工事の様子も多くの保護者の皆さまが直接一度は目にしていらっしゃることと思います。

その新校舎建設工事は安全第一で工事が進んでおります。現在1週間程度予定より遅れていますが、2023年10月末の完成に影響はないようです。3月中旬からは1階の壁と2Fの床部分のコンクリート工事が始まります。以降、約1か月毎に1階ずつ高くなっていく予定です。上へ上へと高くなっていく様子は期待感しかありません。工事に関するご質問などございましたら、オフィスにお気軽にご連絡ください。

1月末時点の様子

2月末時点の様子

1月23日のNo. 162のE-Communicationsで新校舎建設へのご寄付のご案内をさせていただきました。これまでにご寄付いただきました皆様には、この場を借りて深く御礼申し上げます。新校舎建設へのご寄付はまだまだ募集しております。ぜひこの機会に再度ご検討いただけますと幸いです。

なお、金銭によるご寄付以外に、例えば新校舎に絶対必要な、長い年数使用される設備機器の購入を通じてサポートしていただくことも可能です（一例：体育館のバスケットボールのゴール、理科室のフュームフード、図書室の書架等）。物品によるご寄付にご関心がある方はスクールにお問合せください。

KISTでのマスクガイドライン

皆様日本の様々なニュースでご覧になられているかと思いますが、政府は3月13日からCOVID-19のマスクに関するガイドラインを緩和しました。各ご家庭におかれましては、学校に登校されるまでは各ご家庭のご判断でご対応ください。

学校内でのマスクに関するガイドラインは文部科学省から4月1日以降に出される予定です。
今現在、文部科学省は、学校内で他の人と安全な距離を保つことが難しい場合、学校内ではマスクを着用することを引き続き推奨しています。KISTでは文部科学省の現在のガイドラインに従い、引き続きスタッフ、学生、来訪者にマスクの着用をお願いしています。
体育や休み時間、スポーツチームの活動など、外での活動においても、今まで通り個人の判断での着用となります。

4月1日以降の学校におけるマスク着用に関しては、文部科学省から最新のガイダンスが届き次第、校内でのマスクポリシーを見直し、皆様にご案内いたします。

幼児教育ニュース

KIST Familiesの皆様こんにちは。前回の*The Comet*発行から、元気にお過ごしでしたか？
もうすぐ3月、春がすぐそこまで来ていますね。そして今年の春は少し特別です。色々なところでコロナの規制が少しずつ柔らかくなってきていますよね。

今年の1月には3年ぶりに、保護者の方をLMCに招いて本を読むことに関してのCoffee Morningが行われました。

2月末には校内の教室でもたくさんの保護者の方々をお見掛けしました。G1クラスのStory Tellingの発表会で、子ども達の作ったお話を、出版記念会ということで、皆さんが聞きに来ておられました。この学年は、2020年3月からの長いDistance Learningを一番小さなK1クラスとして乗り切った学年です。私も何人かの子どものお話を聞きましたが、子ども達の成長がとても嬉しかったです。

そして、4月には幼稚園の生徒たちによる春のコンサートがあります。最後に子ども達が舞台に上がってコンサートをしたのも3年前です。子ども達は今、Ms. Niñaとともに練習に励んでいます。全員が初めて大きな舞台に上がります。どうか温かい目で見守って頂けたらと思います。

今回は、先日行われたCoffee Morningで答えられなかった質問の一つにお答えしようと思います。どんな本を読んだらいいのかわからないという質問でしたので、私の好きな絵本作家を何人かと、そしてそれとは別に、本のタイトル画像をいくつか載せたいと思います。

英語の本は皆さんもご存じのようなエリック、カールさん、日本語にもたくさん訳されていますね。日本人では五味太郎さん、彼の絵本も英語に訳されています。他にも、アメリカ・カナダからはRobert Munschさん、とても面白い絵本で子ども達も笑いながらお話を聞いています。

カナダからはRaffiさん、Baby Beluga、Five Little Ducksなど歌と一緒に流れてくるお話を聞かれたことがある方も多いのではないでしょうか。

ニュージーランドからは、Mrs. Wishy-Washyシリーズの Joy Cowelyさん。オーストラリアはMem FoxさんとPamela Allenさん、オーストラリアの絵本はたくさんの動物たちがよくでてきますね。Possum Magicは美味しいものも出てきますが。

イギリスからは、とても綺麗に韻をふむお話で有名なJulia Donaldsonさんと作家としてもそしてイラストレーターとしても活躍しているNick Sharrattさん。私はこの二人のお話、そして絵も大好きです。

最後に昨年末に亡くなってしまった、Steve Jenkinsさん、彼の本は子ども達の生まれながらにした好奇心をくすぐる素敵な絵本達、学ぶことがたくさんの本です。

日本からは、かこさとしさんのお名前をあげさせていただきますが、予想通り、たくさんおられすぎて、困ります。

そういえば、子ども達に人気のおさるのジョージも生誕80年記念の催しがたくさん行われていましたね。
もうすぐ春休みです。英語に限らず、お子さんとピクニックや電車の中、眠る前に楽しい絵本のひと時を過ごしていただけえたらと思います。

KISTではJolly Phonicsを使用して、子ども達にPhonicsを指導していますが、こちらにいくつかのおすすめサイトを載せておきます。

- Decodable Readers Australia: **https://draonline.com.au**
- ABC Reading Eggs (Australia): **https://readingeggs.com.au/**
- Letters and Sounds (UK): **https://letters-and-sounds.com/amp/**

Happy reading!

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1–K3)/
K2A Teacher

エレメンタリーコーヒーモーニング

家庭での読書共有

1月26日、小学校では家庭での読書共有に焦点を当てたコーヒーモーニングを開催し、約50名の保護者の方々にご参加いただきました。昨年度K1～G3のご家庭を対象に、家庭での共読の習慣についてアンケートを実施したところ、興味深い発見がありました。K1～K2では39.6%の家庭が毎日子どもと一緒に本を読んでいましたが、子どもが大きくなるにつれてその数は減り、週に1～2回読むと回答したご家庭が、K3～G1では39.6%、G2～G3では66.7%となりました。すべての年齢層で一貫していたのは、

Table 3. *The number of sessions per week that families engage in shared storybook reading at home, compared with the age of the child.*

		Age of child (percent)		
Number of times	Mean	K1-K2 (3-5y.o.)	K3-G1 (5-7y.o.)	G2-G3 (7-9y.o.)
1-2 times per week	41.6	18.6	39.6	66.7
3-4 times per week	20.1	20.9	20.9	18.5
5-6 times per week	16.9	20.9	18.6	11.1
Every day	21.4	39.6	20.9	3.7
Total percent	100	100	100	100

(n=133)

セッションの長さが10～20分（K1～K2：60.5%、K3～G1：43%、G2～G3：44.4%）だったことで、この長さは我々がクラスでのガイドリーディングセッションで推奨する時間と同じであることが興味深い結果です。
また、多くの家庭で、**理解度を問う**、**絵について話し合う**、

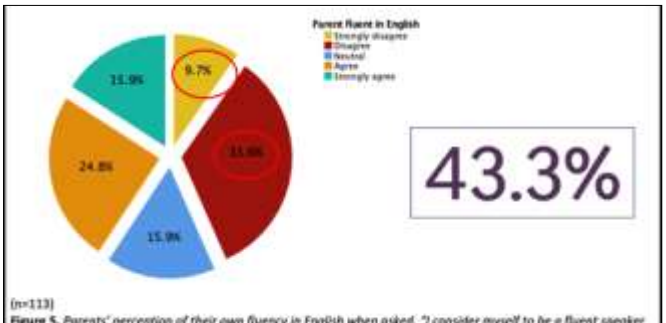
Table 4. *Comparing the duration of shared storybook reading sessions with the age of the child.*

		Age of child (percent)		
Length of session	Mean	K1-K2 (3-5y.o.)	K3-G1 (5-7y.o.)	G2-G3 (7-9y.o.)
Less than 5 mins	5.2	4.7	7.1	3.7
5-10 mins	17.9	20.8	14.3	18.5
10-20 mins	49.3	60.5	43.0	44.4
20-30 mins	16.4	7.0	23.8	18.5
More than 30 mins	11.2	7.0	11.8	14.9
Total percent	100	100	100	100

(n=133)

語彙について話し合う、**予測を立てる**など、授業と同じような読み方をしていることがわかりましたが、子どもの年齢によって結果は違っていました。

最後に、40%以上のご家族が「英語が流暢でない」と感じているにもかかわらず、71.7%のご家族が「英語で読み聞かせをしている」と回答されたことが際立った特徴です。また、85%のご家族が英語以外の言語で読み聞かせをしていると回答しており、多くの生徒が多言語で読み聞かせをしていることがわかりました。
読書スキルは言語を超えて伝達可能であるという研究結



(n=113)
Figure 5. *Parents' perception of their own fluency in English when asked, "I consider myself to be a fluent speaker of English."*

Table 11. *Languages that parents reported using when reading with their children – main questionnaire.*

Language	Percent
Read with child in a language other than English	85.0
Read with child in English	71.7

(n=113)

果があります。そこで、ご家族が最も得意とする言語でお子さまに読み聞かせをし、簡単な戦略を取り入れることを奨励するために、コーヒーモーニングを開催することにしました。

エリック・カールの「はらぺこあおむし」を題材に、日本語で**Ms. Eri**、中国語で**Ms. Wang**、英語で**Ms. Christie**という経験豊富な3人のスタッフが読み聞かせを披露し、質疑応答もしました。これらのセッションはとても素晴らしいもので、保護者の方々も一緒になって楽しんでいらっしゃる姿が印象的でした。また、保護者の方々より、質の高い児童文学にアクセスできるようにするにはどうしたらいいかという貴重なご意見もいただきましたので、近々提供できるようにしたいと思います。
このセッションでの主な収穫は、定期的に（必ず

しも毎晩でなくてもよいのですが）子どもと一緒に本を読むことは、子どもの読書レベルを上げるだけでなく、本や読書を愛する心を育てる上でも非常に重要だということです。英語で読むことが重要だと感じるかもしれませんが、特にあなたが最も心地よいと感じる他の言語でも読むことをお勧めします。そして最も重要なのは、簡単な質問をする、絵や新しい語彙について話し合う、予測を立てるなど、共有読書法を試すことです。ご家庭でこれらのストラテジーを身につけることは、単に読書体験を面白くするだけでなく、お子さまがそれを教室に持ち帰り、総合的な読書能力を向上させるのに役立ちます。

今後のKISTでのコーヒーモーニングにご期待ください。

Oliver Sullivan
PYP Coordinator

エレメンタリーELS

ロールプレイの難しさ

一年の中で何度か、お子さんがその日に授業でやったロールプレイに興奮して帰宅することがあるかと思います。KISTではロールプレイを、教科の枠を超えたユニットの中で学習と評価ツールの両方で、また算数やコミュニティサークルなど他の授業でも使っています。例えば、最近Grade 3では古代文明のキャラクターを、Grade 4では色々な形態の政府を、Grade 5では様々な問題解決について、ロールプレイしました。算数では、お金の使い方の練習などにもロールプレイが使われています。

ロールプレイでは、言語学習と内容の知識が同時に、かつ準備と本番の両方で集中して訓練されるため、最も楽しい学習活動の一つであるだけでなく、最も難しい学習活動の一つでもあります。各クラスに最低二名の指導員がいますので、生徒たちが準備したり、練習したり、ロールプレイを実施する中でより多くの注意を向けることができます。また、概念や知識を理解させながら、必要な言語の補助も行うことができます。

最近KISTで色々なクラスで行ったロールプレイの写真をお楽しみください。

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator/ELS Instructor (G3A)
rachel.parkinson@kist.ed.jp

G4A国王スコットと廷臣たち（左から: Mototaka、Takuto、Sreevaishnavi、Kitty、Niko、Elaine、Devdeep、Ryoma）ロイヤルフォトグラファーが、政府の形態に関するユニットで撮影した写真

G3B生徒（Daniel、Lia、SaraとYaojia）が古代ローマのロールプレイの準備をしています。

ESRCアップデート

1学期は楽しいことでいっぱいでした。ESRCでは、Free Dress Days、Candy Cane Drive、そしてWinter Wonder Fun週間を開催しました。学期はみんなの最大限の創造力を讃えるDot Dayで始まりました。ワールドカップの日本代表を応援するために、サムライブルーのユニフォームを着ました。Spooky Autumn Costume Day、Cozy Winter Sweater Dayも開催しました。Winter Wonder Weekでは玄関ホールを飾り、靴にベルを付けてお祝いしました。ホリデームービーを見て、ポップコーンも食べました。こうして楽しみながらコミュニティを築くという私たちの目標は、確実に達成されたのです。

1学期は「楽しい」がテーマでしたが、2学期は「思いやり」がテーマです。まず、バレンタインのFree Dress Dayでは友情と地域愛を祝いました。5年生は3年ぶりの対面式展示会を開催しました！　不安と興奮に包まれた5年生をサポートするため、ESRCメンバーは励ましの言葉を添えたおせんべいのお菓子をプレゼントしました。

ESRCでは、Candy Cane Driveの売り上げから**49,747円**を日本赤十字社に寄付することができました。寄付の効果を高めるために、私たちは学期ごとに1つのチャリティーを選んで寄付することにしました。ESRCは、第2学期はユニセフに寄付し、移民や避難民の子どもたちを支援・保護するための資金とすることを発表します。ESRCでは現在、これまでに集まった寄付金の使い道について検討しています。教室にビーンバッグ？　休み時間用のゲーム！？　学校菜園！？　飼育動物！？　ポップコーンマシーン！？　ESRCの担当者にあなたの要望を伝えてください。

Ms EmilyとMs Fern

PYP Exhibition 2023年

この展覧会は、PYPにおけるIB教育の集大成と位置づけられています。この展覧会には、生徒が持ち寄ったアイデアやコンセプトの数々が含まれています。毎年5年生が、欠点だらけのこの地球で、どうすればよいかを模索しながら、洗練された雄弁な作品に仕上げていることに驚かされます。

この点をさらに詳しく説明するために4つのグループを抜粋しました。各グループとも、これらの重要なトピックを取り上げた正当な理由と、それに対する行動の意図が明確に示されています。この4つのグループは、今年の展覧会プレゼンテーションで取り上げられたトピックの氷山の一角にすぎません。毎年エレメンタリーの子どもたちは、ある使命を持って社会に出ていきます。その使命は陳腐で取るに足らないものではなく、私たちの物理的環境だけでなく、地球社会とその夢である充実した平和な存在の将来にとって重要で不可欠なものなのです。Grade 5の皆さん精一杯努力してください。あなたたちの努力によって、あなたたちにも私たちにも素晴らしいことが待ち受けています。

もし、まだ展示発表会に足を運んだことがないのであれば、ぜひ来年のカレンダーにマークしておいてください。きっとご満足いただけると思います。

Clay Bradley
Elementary School Vice Principal

Krishiv (G5B) | Exhibitionテーマ:「ソーシャルメディアにおける不平等」

ネットいじめは世界で大きな問題になっている。Deborah Quinn（2023）によると、ネットいじめとは、他人について否定的、有害、または虚偽の内容をシェアすることです。ネットいじめをやめさせることは、世界をより安全な場所にするために、解決しなければならない大きな問題です。私たちのグループはこの問題に取り組み、それをやめさせるためにできる限りのことをしています。
ネットいじめは、精神衛生に有害な影響を及ぼします。Stuti Mehta（2021年）によると、ネットいじめを受けた人のうち41%が社交不安障害を発症し、37%がうつ病まで発症し、26%が自殺を考えたことがあるとまで言われています。ネットいじめが人々の精神衛生に多くの影響を与えることは明らかなので、0%にする必要があります。
さらに、ネットいじめは精神衛生に大きな影響を与えるので、私たちのグループは変化を起こしたいです。Instagramは多くがネットいじめを受ける場所です。Christo Petrov（2023）によると、Instagramはネットいじめが多く発生している場として1位を獲得しています。42%のネットいじめがInstagramから発生しています。10億人以上が使っているので、ネットいじめの事例も多いのです。このことからアプリのせいでいじめに遭っていることがわかります。Instagramはいじめの原因になっている。だからアプリでのいじめをなくすための対策が必要なのです。

Rury (G5B) | Exhibitionテーマ:「自然災害」

津波、地震、土砂崩れなど、多くの自然災害は気候変動によって引き起こされます。私たちの世界を持続不可能なものにしている要因はたくさんあります。国連によると、石炭、石油、ガスは、自然災害を引き起こす気候変動の原因となっています。さらに専門家は、この原因が世界中の人々に影響を及ぼすと主張しています。これは、この問題のためにより多くの死が引き起こされることも意味します。気候変動を引き起こす原因は、石炭、石油、ガスです。私たちはこれらの物質を使用しないことで、この問題を解決することができます。
気候変動は人間社会に害を及ぼしています。人々が地球上で生きていくにはとても持続不可能なことなのです。気候変動が人々に影響を与える要因はたくさんあります。国連によると、負傷、経済の損失、財産の損失、食料供給の減少、種類減少とその生息地の損失が人間に影響を与えます。さらに、もし私たちが汚染を減らし、再生プロジェクトを増やし、グリーンエネルギーを使用することができればと。もし私たちがこれらの指示に従わなければ、これは人々が餓死する（食料供給の損失）ことにつながりかねません。これらにより、専門家は、気候変動が人間や動物の社会に害を及ぼしていることを確信しています。
国連（United Nations）によると、早期警報システムは人々に警告を与え、危険から救うことができるといいます。さらに早期警報システムは、地域社会が危険な気候関連事象に備えるのを助けることができます。このように早期警報システムを導入することは、人々を危険から救い、多くの命を救うことにつながります。したがって、科学者や専門家は、早期警報システムを持つことは多くの命を危険から救うことができると主張しています。

Akiko (G5B) | Exhibitionテーマ:「きれいな水が飲めること」

誰もがきれいな水が飲めるわけではありません。データで見ると2017年には世界で安全でない水が原因で12億人もの人が死亡しています（Ritchie, H. & Roser, M. 2019）。これは安全でない水が原因で多くの人々が命を落としていることを示しています。安全な水を飲むことができない国では、安全ではない水を飲んだり、水不足で死んでしまいます。したがって、私たちは誰もがきれいな水が飲めるようにする必要があります。
最も飲料水が悪い国はエチオピアです。ライフウォーター・インターナショナルは、エチオピアでは、人口の60%が飲み水への十分な基本的アクセスを持っていないと説明しています（Kahn, C. 2020）。エチオピアでは人口の半数以上が水を利用できません。これは多くの人が基本的な飲み水にアクセスできていないことを示しています。まとめると、すべての国が少なくとも清潔な水への基本的なアクセスを持つべきだということです。
安全でない水は病気の原因になります。国連ニュースでは、安全でない水に起因で起こる病気が原因で、毎年85,700人以上の15歳未満の子どもが亡くなっていると説明しています（UN news, n.d.）。 安全な飲み水にアクセスできないだけで子どもたちは亡くなってしまうのです。病気は怖いもので、安全でない水が原因で起こるものもあるのです。結論として、水は病気の原因にならないよう、安全であるべきです。

次のページに続く

前ページの続き

Juzo (G5B) | Exhibitionテーマ:「インフレ」

インフレは今とても深刻な話題で、人々に害やストレスを与えている。Jason氏によると、"インフレとは物価の上昇と購買力の低下である"という(Jason, 2022)。 これは、インフレは良いことではなく、人々にマイナスの影響を与えるという主張です。低賃金労働者の人々に害を与える可能性があり、購買力を低下させてしまうため重要です。その結果、貧困層はマイナスの影響を受け、貯蓄は急速に価値を失うことになります。

ウクライナとロシアの戦争は、インフレにマイナスの影響を与える可能性があります。実際ForbesアドバイザーであるAdam Straussは、"ウクライナとロシアの戦争の影響でエネルギー価格が上昇しそうだ"と述べています(Strauss 2022)。つまり戦争が続いているためにインフレも悪化しているということです。したがって、インフレを解決するためには、現在進行中の戦争の発生を阻止する必要があると考えられています。これは、戦争が続いているために人々はインフレに苦しむことになることを述べています。

インフレは為替レートにマイナスの影響を与えることがあります。Central Chartsによると、"インフレ率が両国で均一であれば、為替レートは変化しないが、インフレ率が両国で不均一であれば、それは為替レートに影響を与える場合がある "と述べています(Central Charts n.d.)。 これは為替レートがインフレによって影響を受けることがあり、観光客を呼び込むことができる場合とできない場合があると主張しています。このように、観光客に魅力的でないとなると、その国にマイナスの影響があると考えられます。

KIPSニュース

From the P0/P1 classroom...

こんにちは。P1クラスに1月から新しいお友だちが入園し、毎日賑やかに過ごしています。ここ最近では言葉が2語、3語文に増え、お友だちや保育者との言葉のやり取りを楽しむ姿がみられます。

日本語のレッスンではTermのテーマにあった絵本や歌、季節について楽しく学んでいます。最初の頃は保育者が絵本を読んでいる姿を見ているだけでしたが、最近は絵本の知っている絵や物を一緒に声を出して言う姿や、知っている歌が流れると保育者の真似をして一緒に踊り、知っている歌詞のフレーズを歌う姿に日々成長を感じ嬉しく思います。

今年のJapanese New Year Partyと節分はP2クラスと合同でおこないました。Japanese New Year Partyでは、最初にお正月遊びのイラストを見てから「福笑い」で遊びました。最初に保育者が見本で遊び方を見せてから、子どもたちに順番に顔のパーツを貼っていき、完成をすると面白い顔の福笑いに大笑いで眺めていました。

節分は日本語のレッスンで作った鬼のお面を付けて「鬼のパンツ」を踊りました。遊びの時間やレッスンなどで練習をしたので歌に合わせて上手に踊る事ができ、鬼が登場すると泣かずにボールを投げる子どもや泣いて保育者に抱きついてしまった子どもたちもいましたが、頑張って鬼に向かって「鬼は外」とボールを投げる事ができました。最後は鬼と一緒に写真を撮りました。

今後も引き続き日本の昔の遊びを通して文化を紹介していきたいと思います。

Hitomi Hirakawa
P0–P1 Teacher

From the P2 classroom...

「子どもたちは何を伝えようとしているのかな？」今年も例年と同様、そのように感じながらP1とP2の子どもたちを8月に迎え入れて、すでに半年以上が経ち、入園当初の子どもたちの様子を思い出すと、目覚ましい成長を感じます。

特に言語面で今年のP2は、家庭内とKIPSで異なる言語で生活を送っている子どもが多く、入園時にはようやく母語で単語がつながった文を話せる子どもや、一生懸命話してはいるけれど、なかなか聞き取りにくい言葉を話していた子どもなど様々でした。今では「What's this?」「What are you doing?」「I don't like it.」「I like ○○.」「Show me please.」「I want to do it.」などの言葉を自発的に口にする場面が多く見られるようになってきました。もちろんその程度には個人差がありますが、これらは自然に習得するものではなく、周りには見せない子どもたちの計り知れない努力の成果です。今では子どもたちの伝えたいことが、彼らの言葉により、しっかりと伝わってきます。

多くのP2の子どもたちがKISTへの進学を目指す中、将来の高い目標に向けて、はじめの一歩をよりスムーズに踏み出すことができるよう、保護者の皆様と共に引き続き全力でサポートしていきます。

Minami Nose
KIPS Nurse

IGCSEニュース

2学期も半ばを過ぎ、G9はIGSCEに、G10は模擬試験やIGCSEの試験準備に没頭しているところです。

しかし、私たちG8はこれから約1ヶ月の間にいくつかの決断をしなければなりません。

Rachit (G9A)
Economics/ Geography

Alexandra (G9B)
Business/History

Eri (G9A)
Visual Arts/ Geography

Xitong (G9B)
Economics/ Geography

IGCSEレベルではどのようなコースを受講したいですか。
IGSCEを知る上で、ちょうど1年前に同じ立場にいた現役G9の存在は欠かせません。そこで、現役のG9に、科目選択の経験やIGSCE全体の印象について聞いてみました。ここではその中から、G8で選択した科目の違いについて、いくつかの回答を紹介します。

Mahipaul (Ron) Dayaram
IGCSE Coordinator

G9を始める前に、IGCSEについて知っていたことは？

Eri: IGCSEは、勉強や宿題、試験などハードなレベルが含まれていて、難しいだろうと思っていました。

Alexandra: IGCSEでは、より多くの時間管理能力が問われると思ったので、G9の前に準備を始め、より良い学習習慣を身につける必要がありました。

Xitong: 具体的な情報はあまりなかったのですが、DPの準備としてより良いものがあると紹介されたのがきっかけです。2年間の終わりに最終テストがあると先輩から聞いていました。

Rachit: ピアソン・エデュクセルのIGCSEは、学問的な成功だけでなく、「人生のための学習」に役立つ知識を提供してくれると知っていたからです。

IGCSEのコースを選択するプロセスを説明してください。

Xitong: G8 I&Sで各教科の単元を学習した後、どの教科を選択したいのか大まかなイメージができました。G8では最初から歴史が好きだったので、歴史を選択しようと思っていましたが、すべてのユニットを学習した後、経済と地理を学習することにしました。

Rachit: 経済学のコースを見て、ビジネス経済学が4分の1でカバーされていることに気づき、経済学の種類に特化しすぎるよりも、幅広い情報をカバーしたいと思いました。そのため、日常生活で手を取り合って使う経済学と地理学を選択することになりました。

Eri: まず、高学年の友達から情報を集めました。各科目の概要と、それぞれのメリット・デメリットを教えてもらいました。

Alexandra: 将来は経済関係の仕事に就きたくないと確信していたので、ビジネスとエコノミクスの2科目はすぐに勉強したくないと思いました。歴史と地理で迷ったのですが、歴史の方が興味深かったのですが、地理はやはり楽しい科目で、環境に関わる職業に就こうと考えていたので、将来のキャリアにプラスになると思いました。また、美術は創造性を発揮できる科目であり、言葉以外に自己表現ができるという意味で、他とは違う科目だと思い、選びました。

自分の選択に満足しているか、何かを変えたいと思うか。

Alexandra: 概ね、IGCSEの科目選択には満足しています。正直なところ、美術がこれほどストレスフルだとは思いませんでしたが、美術は他の教科にはない創造性を発揮できるので、好きな教科のひとつなので後悔はしていません。

Rachit: はい、自分の選択には非常に満足しています。経済学と地理学です。これらの科目は相互に関連し、互いを深く理解することができ、私たちを取り巻く宇宙をも理解するのに役立ちます。

Xitong: 自分の選んだ科目には満足しています。でも、「もし歴史を学んでいたら」と想像することもあります。

Eri: はい、私は自分の選択にとても満足しています。歴史はとても興味深く、複数のことを学んだり、各国の歴史的な情報を見つけたりすると、いつも夢中になります。ビジネスもいいですね。会社の構造を構成するロジックは、複雑ですが美しいです。

IGSCEはどのようなものですか。

Xitong: IGCSEは2年間のコースですが、かなり習得内容も用語も多いと言えるでしょう。G8 MYPから難易度がぐっと上がり、テストでは、何をどう答えるのかなど、特に英語ではかなり具体的になっています。

次のページに続く

前ページの続き

Alexandra: 間違いなく、IGCSEはLSPよりも科目が増え、自己時間管理の責任もあり、ストレスが大きいです。しかし、ある面では、自分の興味のある科目を探求し、経験することができる時期なので、IGCSEの方が楽しいと感じることもあります。

Rachit: ローワーセカンダリープログラムよりも忙しいですが、IGCSEではスポーツなどの課外活動体験の機会が多く、知識を結びつけてネットワークを形成することができ、優先順位を決めるなど責任に関するスキルも向上します。

G8とG9の違いは何ですか。

Alexandra: G8では、時間管理の面で、より多くのガイダンスがありました。例えばG8ではHomework Diary があり、先生は生徒がテストや試験の準備をできるように多くの時間を割いてくれました。G9ではそのような指導はあまり行われません。G8と比べると、テストや宿題の内容を把握する必要があります。さらにG8では主要科目が5つ程度だったのに対し、IGCSEでは主要科目が8つもあるため、生徒としては、その勉強量を把握することが不可欠です。

Xitong: 私見ですが、一番大きな違いは、科目の数と学習内容の具体性だと思います。G8では、I&Sやサイエンスといった幅広い科目がありましたが、今は特定の科目（生物、化学、物理、経済、ビジネス、歴史、地理、美術）があります。ある意味、自分の興味のあることを学べるようになったわけですが、その分勉強量も増え、成績評価も厳しくなりました。

Rachit: G8で得た知識はすべてIGCSEでより深い概念を理解するために不可欠ですが、G9で得られる責任（時間管理、スポーツやCASなどの経験を積みながら学業で高い成績を維持すること）、勉強量、課外活動の機会などの違いもありますね。

G8生にIGCSEをたった1文で説明する。

Xitong: LSPで基礎を固め、DPで本当にやりたいことを突き詰めていく、その中間のような存在です。

Rachit: 実践的な知識の習得、経験や理解の汎用性、回復力に満ちた旅：IB DPへの足がかりとなる。

Alexandra: 自分自身について、自分の興味について、この世界で自分がどうありたいのか、どうやってそこにたどり着こうとしているのかを知るための旅なのです。

来年に向けて、どんなことを期待していますか。

Xitong: 理科では実験ができるようになり、数学では「純粋数学」が学べます。これはとても専門的で、新たなチャレンジにわくわくします。

Eri: 例えばG10では冷戦について学びますが、これはもともと興味があったことなので、より深く理解できるようになるのが楽しみです。

Rachit: 各教科の知識をさらに深め、周囲とリンクさせ、これまでに学んだ知識と組み合わせて、2年間のジグソーパズルを完成させることができるようになることです。

お気に入りのコースとその理由を教えてください。

Xitong: 一番好きな科目は中等部入学時からずっと数学でした。難しい問題を解いたときの満足感が忘れられず、数学が大好きなコースになりました。

Eri: 好きな科目は「歴史」です。私はどちらかというとSTEM系の学生で、理系の方が得意なのですが、歴史学の方が面白いと思います。なぜなら、歴史的な出来事を第三者の視点で捉え、過去に起こった過ちを評価し、そこから学び、二度と歴史を繰り返さないようにすることができるからです。自分だけでなく、すべての人が協力し、より良い世界を築き上げることができると思います。

Rachit: すべてのコースを楽しんでいますが、一番好きなコースは生物学です。生物学を学ぶことで、生物がどのように機能し、さまざまな活動を行うのかという基本的なことを理解することができますし、薬などの製造の基礎となる（これも生物を分析することで初めて理解できる）からです。

Alexandra: 美術は私のお気に入りのコースです。他の科目とは違うからです。実際、創造的な思考ができる唯一の科目です。そのクリエイティブな思考の意味を伝える美術や自分のある側面を表現する美術を制作するのが楽しいのです。

edexcel Approved Centre

IGCSEでの効果的な学習習慣について

IGCSEに入学することは、生徒にとって、より厳格で難しいアカデミックなカリキュラムに移行するための重要なステップです。IGCSEで成功するためには、効果的な学習習慣を身につけることが不可欠です。ここでは、IGCSEの生徒が成功するための学習習慣を身につけるためのヒントをいくつか紹介します。

1 学習スケジュールを立てる

学生にとって最も重要なことの1つは学習スケジュールを立てることです。これは時間を効果的に管理し、必要なトピックをすべてカバーしていることを確認し、土壇場で詰め込むことを最小限に抑えるのに役立ちます。各科目に特定の時間を割り当て、休憩やリラックスのための十分な時間を確保する必要があります。また、他の仕事や課外活動を考慮し、現実的で達成可能な学習スケジュールを立てることが重要です。

2 学習環境を整える

学生が勉強する環境は学習にとって不可欠です。静かで気が散ることがなく、快適であるべきです。明るい空間、座り心地の良い椅子、机やテーブルがあることが重要です。テレビの前や人通りの多い場所など、気が散りやすい場所で勉強するのは避けましょう。理想的には、勉強するときだけ使う専用の場所を作ることです。

3 メモを取り、情報を整理する

IGCSEで成功するためには、効果的にノートを取ることと情報の整理が不可欠です。生徒は、授業中に詳細なノートを取り、定期的に見直す必要がります。ノートやその他の学習資料は、科目別やトピック別など、自分にとって意味のある方法で整理する必要があります。図や表、その他の視覚的な補助を使用することも効果的です。

4 アクティブラーニングを実践する

アクティブラーニングは、受動的なリスニングやリーディングよりも、より魅力的で効果的な学習方法です。生徒は、質問をしたり、議論に参加したり、問題解決の練習をしたりすることで、アクティブラーニングに取り組む必要があります。また、異なる科目やトピックを関連付けることで、学習効果を高めることができます。

5 必要なときに助けを求める

必要なときに助けを求めることは、学生にとって不可欠なことです。これには、教師に説明や追加のリソースを求めるだけでなく、チューターや学習グループと協力することも含まれます。助けを求めることは恥ずかしいことではありませんし、必要なときにサポートを求めることは、強さと献身の証です。

6 セルフケアを優先する

最後に、学生は自己管理を優先することが重要です。十分な睡眠、健康的な食事、適度な運動などが含まれます。また、休憩をとってリラックスすることも、ストレスを軽減し、集中力を維持するために必要です。勉強のために心身の健康を犠牲にすることは、結果的に逆効果になる可能性があります。

結論として、効果的な学習習慣を身につけることは、IGCSEで成功するために不可欠です。学習スケジュールの作成、適切な学習環境の確保、ノートの取り方と情報の整理、アクティブラーニングの実践、必要に応じて助けを求めること、そして自己管理を優先することで、学生は成功への道筋をつけることができるようになります。献身的な努力と正しい学習習慣があれば、学生は学業上の目標を達成し、IGCSEで優秀な成績を収めることができます。

G11経済学履修学生の振り返り

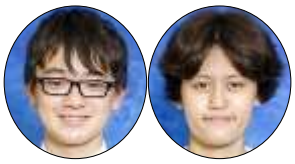
教科書を超える教育・学習：完全競争市場

ここ数週間、11年生HL経済学のクラスでは、「企業の理論」という単元の最初の部分を学習してきました。この単元では、企業はなぜいまの形で運営しているのかについて学びます。まず、競争の激しい市場で企業がどのように運営されているのかについて探りました。この単元の前半では、生徒たち自身が競争市場の企業がどのように利益を上げ、損失を計上するかについてクラスで教えました。この授業を担当した生徒たちは、クラスのメンバーから質問を受けるなどして挑みました。型破りではありますが、双方向性の魅力的な学習方法でした。

放課後生徒たちは宿題として、この体験を通して学んだことをより明確にするためにビデオにまとめました。ビデオは4本あり、学生はそれぞれのサブテーマについて「エキスパート」になるよう割り当てられました。授業では、学んだことをより深く、あるいは全体的に理解するために、他の生徒にも教えました。その後、Mr. Gombyaは質問に答えたり、教えてもらったことにコメントするよう促したりして、私たちの理解を明確化し、深めていきました。

例えば、完全競争市場では、価格転嫁の性質があるため、企業に価格が転嫁されること、短期と長期の違い、配分効率（市場）と生産効率（企業）、競争市場の企業がコストが高すぎると非効率で閉鎖され、マイナスの経済利益が生じること、長期では企業が通常の利益（ゼロ）で終わることなど、さまざまなことを学ぶことができました。

総合的に先生から学ぶことと、仲間やインターネットから学ぶことを組み合わせることで、様々な説明の仕方でトピックを探求し、理解度を広げることができました。



Lance (G11B) and **Ruby** (G11B)

KISTにおける癌への活動

この度、日本の癌研究のための資金集めを目的とした、学生主導のチャリティー団体を新たに設立しましたので、ご報告させていただきます。私たちは資金を集めるだけでなく、日本における癌の課題に対する認識を高めることを望んでいます。

癌は先進国の中で最も死亡率が高く、日本における重要な健康上の懸念事項です。この病気に罹患した人々に対して、行動し、認識を広め、変化をもたらすことが必要不可欠です。そこで私たちは今年、日本で癌と闘う人たちに研究資金と支援を提供することを目標に、学生主導の奉仕活動を開始しました。この活動は、日本がん協会の活動を支援しています。詳しくは以下のリンクをご覧になってください。

Web https://www.jcancer.jp/

今回は、1月23日、24日に開催された寄付イベントの様子をお伝えします。今回初めて開催したイベントでしたが、皆様から合計**4万円**の寄付をいただくことができました。朝から校門前に募金箱を設置し、学校関係者の方々のご協力に圧倒されました。

寄付をしてくださった方、ボランティアをしてくださった方、イベントをサポートしてくださった方、どのような形であれ、すべての方に感謝いたします。皆様のご寄付は日本のがんと闘う人々の生活に大きな影響を与えることができました。

私たちは、癌との闘いに変化をもたらすために、皆さまのご協力をお願いしています。寄付金の大小にかかわらず、どのような寄付でも違いを生み出すことができます。皆様のご支援は、研究資金、患者さんやご家族へのサポート、病気に対する意識の向上などに役立てることができます。

私たちはさらなる募金活動を計画しています。ご清聴ありがとうございました。引き続きご支援をお願いいたします。

Anant (G11)
KIST Japan Cancer Society

失敗を成功に変える

この季節になると、私たち教師は、受験シーズンまであと数週間しかないことを実感します。この時期、生徒の自尊心を保つためには、彼らの人生の先輩である私たちが、大切なこととして、成功だけでなく失敗について話すことです。

私たちケアチームが好きな日本のことわざのひとつに「失敗は成功のもと」というものがあります。試験本番では、間違えたり、忘れたり、知識不足に気づいたりするものです。このような「失敗」を障害と捉えず、むしろ成長・向上するチャンスと捉えることが大切です。どう対応すればいいのかがわかれば、間違いを犯すことは学習する上で重要なポイントとなります。では、学生はどのように対応すればいいのでしょうか。また、その際、私たちはどのようにサポートすればいいのでしょうか。

学生がテストで残念な結果になったことを相談したいとき、しばしば以下のような声を耳にすることがあります。

> 動揺するなんておかしい。他の誰もこのような反応はしないでしょう

> そんなに大げさにする必要はない。こんなに悩む人は他にいない

> もっとX氏のようになるべきだ

これらの発言はすべて、失敗したときの失望感やそれに伴う複雑な感情を無効にしてしまいます。必然的に学生は自分の結果や反応を他人と比較することで反省のプロセスを始めることになります。しかし上記のような発言は、失望が自然で健全な感情であるという考えを無効にしてしまいます。この失望をポジティブに捉え直すことができれば、今後の効果的な動機付けとして機能することができます。

時々、学生は将来再びこのような気持ちにならないようにする方法は、「辞める」か「勉強方法を完全に変える」ことであると述べることがあります。一日一日の積み重ねが大切な時期にこれでは逆効果ですし、時間もかかってしまいます。そうではなく、生徒が自立して、自主的に解決策を考え出すように促すことができます。例えば次のような文言は、生徒が新しい視点を持つのに役立ちます。

「あなたが集中すれば、最も大きな変化をもたらすことができる、たった一つのこととは何ですか」
これは「ハイレバレッジ・ゴール」の設定と呼ばれるものです。最も大きな影響を与えることができるものに焦点を当てることで、復讐を圧倒的にして、過度に批判的になることを防ぐことができます。

「あなたは問題解決にとても長けていますね。次回はもっと違うことができるだろう」
若者は解決策を生み出すツールを内に秘めているという考え方を強化することで、自己啓発の感覚を育み、レジリエンスを高めることができます。

「今日はこのテーマに集中して過ごすのはやめよう。今日は他のことに取り組んで、明日またこのテーマを見直そう」
問題にスペースを与えることで、感情的な反応ではなく、現実的な反応を促すことができます。怒りや不満で反応するのではなく(そしてしばしば状況を大惨事にする)、失望感が薄れる時間を与えることで、より論理的な反応を見ることができるのです。

まとめると、この記事の目標、そして教育者や親としての私たちの目標は、失敗は当たり前とすることである。大人になっても失敗が存在しないかのように装うことは、仕事や子育てなど、避けられない現実的な課題に対する若者のためにはなりません。その代わりに私たちは、生徒が困難な状況を捉え直し、自己反省を促し、よりハードではなく、よりスマートに働けるようにサポートすることができるのです。

Matthew Archer and
Hannah Cowie
Student Care
Coordinators
(Secondary)

ディベートクラブ

後方（左>右）: Remi、Saanvi、Sara、Shaunak、Lander、Alexandra、Teo、Shakti、Muskaan、Arshiya、Sungbeen、Anant
前方（左>右）: Andrew、Aryan、Arnold、Ananya、Yixuan、Arnav、Kiichiro、Lance

3年ぶりにKPASSトーナメントの練習を対面式で行いました。ディベートはKISTの生徒にとって素晴らしい活動の一つです。イギリスから来た私にとってディベートは、一般的ではなかったので、今年は生徒たちから多くのことを学びました。ディベートに参加することで、人前で話すこと、説得すること、議論することを学び、生徒達はコミュニケーション能力を高めます。今年は難しくて複雑な議案が多く出され、生徒たちはディベートを行いました。ディベートするには短期間にさまざまなトピックを調査する必要があり、その結果生徒たちは新しいアイデアに触れ、考え方を広げ、よりオープンな人間になることができます。特に情報を批判的に分析し評価するクリティカルシンキングのスキルが向上し、生徒たちの自信が深まるのを見るのは嬉しいことです。練習や大会に参加したメンバーの皆さん、お疲れ様でした。

Hannah Cowie
Debate Coach 2023

KPASSディベートシーズン2023は驚くべき経験でした。私たちKISTのJVとVarsityチームは、St. Mary's International Schoolに行き、練習ディベートに出場しました。JVチームはその後、JVトーナメントのためにSeisen International Schoolに行きました。VarsityチームはASIJに行き、Varsityトーナメントに出場しました。多くの勝利があり、素晴らしい学習体験となりました。ASIJ、ISSH、SIS、TIS、SMISの生徒と出会い、競争することができました。私たちのディベートスキルも日に日に向上していきました。私たちはとても楽しく、来年はKISTにもっと多くの勝利をもたらすことを期待しています。

Ananya（G9B）、体験談を短い文章で書いてくれてありがとうございました。

Ananya（G9B）がJV大会のスピーカー賞を受賞しました。**Alexandra**（G9B）は、最多獲得ポイントでトップ10入りしました。

Saanvi（G12B）がVarsityトーナメントでスピーカー賞を受賞しました。

Andrew（G10B）、**Arnav**（G11B）、**Muskaan**（G11A）：カテゴリーで最も多くのディベートを獲得したドリームチームの皆さん、お疲れ様でした。

後方（左>右）: Mr. D'Rozario、Kiichiro、Andrew、Shaunak、Sungbeen、Arnav、Shakti、Muskaan、Mr. Charlie
前方（左>右）: Ms. Cowie、Ashmita、Sara、Saanvi、Remi、Yixuan、Ananya

サービス活動：日本若者協会

皆さんは「子ども基本法」*が日本で来年2023年4月に施行されることを知っていますか

この法律の基本理念は以下のように定められています。[1]

- すべての子どもが個人として尊重され、基本的人権が保障されること
- 自分に関する事柄への意思表明や、社会参加の機会が確保されること
- 子どもの意見が尊重され、最善の利益が提供されること

私は日本の政治の問題点や課題を取り上げる「日本若者協会」のメンバーで、その中でも子ども基本法の制定における課題を話し合う「学校における子どもの権利保障を考える検討会議」のメンバーとして参加しています。

子どもの権利をめぐっては、1989年に国連総会で採択された「子どもの権利条約」で、子どもも大人と同様にひとりの人間として人権があるとして、生きることや育つことなどへの権利に加え、子どもの意見の尊重などが定められました。日本も1994年に条約を批准しましたが、子どもの権利について包括的に定めた法律がなく、国連から法整備をするよう相次いで勧告を受けていました。[1] 今まで明文化された子どもの権利について法律が30年近くなかったのです。

私たちインターナショナルスクールに通う学生にはなじみのないことですが、日本の教育現場での人権侵害は多岐にわたります。日本のある中学校では、生徒の下着を異性の教師が確認することがあります。つまり、女子生徒の下着を男性教師が見ることになる、ということです。なぜこのようなことをするのか。それは校則で下着は白と決められているからです。ショックを受けた女子生徒の一人は登校拒否になってしまいました。[2]またいじめは大きな社会問題で、先生や教育委員会がいじめを隠蔽し裁判にもなっている例が多くあります。[3]

日本における子どもの権利及び施行される子ども基本法について知ることは、日本に住む私たちにも国籍は関係なく大切なことです。

私はぜひ皆さんにこれらのことを知ってほしいと思い、会議の議事録を英語に翻訳しています。また、日本若者協議会ではメンバーも募集しています。日本語ができることが条件となりますが、もしあなたがこれらのことに興味があるようでしたら、喜んで私がお手伝いします。どうぞ遠慮なくご連絡ください。

Mana (G7A)

***こども基本法（令和四年法律第七十七号）**
施行日：令和五年四月一日

Web

https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=504AC1000000077_20230401_000000000000000

引用:

(1) 【詳しく】子どもの権利どう守る? こども基本法の理念と課題は
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220614/k10013670771000.html

(2) 「シャツの胸を開けて下着チェック」"ブラック校則"で人権侵害　不登校になった女子生徒も【福岡発】
https://www.fnn.jp/articles/-/163512

(3) いじめ裁判判例紹介
https://stopijime.jp/precedent.html

ArnavがNational Math Awardを受賞

私は、2022年版のInternational Youth Math Challenge（IYMC）に参加しました。STEMに関連する課外活動の機会を探していたところ、オンラインでIYMCを発見しました。IYMCは12,500人以上の参加者が登録されている国際的な数学コンテストです。2022年の大会は、予選、プレファイナル、ファイナルの3つのステージで構成されました。予選は5問出題され、その中から3問を正解しないといけませんでした。比較的難易度の高い問題でしたが、少し時間をかけて取り組めばできないことはありませんでした。しかしプレファイナルの方がはるかに難しくなりました。提出期間は4日間で、8つの難しい多段階の問題から構成されていました。その中には、数学雑誌の研究論文を読んで理解しなければならない問題もありました。プレファイナルに合格した後、20分、20問のファイナルテストを受けました。プレファイナルの長大な問題とは異なり、速く考え、解くことが要求されました。ファイナルのスコアは16/20で、大会参加者の上位5%に入ることができました。また、日本での最高得点者でもあり、National Awardを受賞することができました。

IYMCへの参加は、STEM科目と問題解決への情熱を持っていた私にとって、とても豊かな経験となりました。私は現在Math HLの学生ですが、学校で教わった数学の多くがこの大会で試されました。数学の研究論文の問題など、試験の中には私にとってなじみのない要素もありましたが、学校ですでに習った数学を活用することで、ほとんどの問題に答えることが出来ました。数学の授業では、トピックをよく理解できたあとに授業の後半でシラバスの範囲を超えるような難問に挑戦する機会が多くあります。このような一見些細な経験から得た知識が積み重なり、私の成功に大きく貢献したと思っています。KISTが提供するMath Field Dayのような機会も、このコンペティションでの私の成功に寄与しています。私はGrade 6からMath Field Dayに参加しており、コンテストでの数学の問題解決能力を大きく向上させることができました。特に数学の先生方が提供するMath Field Dayのトレーニングセッションは、協力的で生産的な環境の中で、有用な数学的技術を最大限に吸収することができるので、充実したものとなっています。今後もIYMCのような機会に参加したいと思いますし、私のようにSTEMを追求することに興味がある学生にも強く勧めたいと思います。

KISTの先生方なしではこのコンペティションでよい結果を出すために必要な学問的背景や知識を得ることはできなかったので、先生方のサポートにはとても感謝しています。
このような協力的な学校コミュニティの一員であることをありがたく思います。

Arnav (G11B)

ニューフェース

先号の*The Comet*発行後に新しく2名スタッフが入りました。セカンダリースクール数学教員の**Steven Kilty**とオフィスのアドミニアシスタントの**Yoko Akiba**です。

Mr. Kiltyは新しい仕事についてこう言っています・・・

> KISTのコミュニティに参加することになり、感激しています。私はアメリカのイリノイ州出身で、2012年から日本に住んでいます。教えていないときは、長距離走と2人の子ども遊ぶことを楽しんでいます。皆さん、よろしくお願いします！

Ms. Akibaの新しい仕事についてのコメントです・・・

> 学校で働くのは今回が初めてです。今までイギリス、アメリカ、香港、ジャマイカ、マレーシアに住んでいました。学ぶことはたくさんありますが、KISTのコミュニティの一員になれたことをとても嬉しく思っています。

学校コミュニティを代表して、二人を歓迎します。お二人の新しい仕事の成功を祈るとともに、楽しんでいただきたいと願っています。

Steven Kilty
Secondary Mathematics

Yoko Akiba
Administrative Assistant

Individuals & Societies（I&S）部門から

Individuals & Societiesのスナップショットへようこそ！各学年、各教科がこの1年間で何を探求してきたかを知ることができます。

Keith Erickson
Subject Area Coordinator - I&S

LSP Grade 6

G6 I&Sでは、生徒たちは古代文明とそのさまざまな革新について学んできました。LSPカリキュラムの学期末試験導入に伴い、生徒たちはノートの取り方を練習してきました。良いノートは、生徒が長期間において復習をするのに不可欠です。特に2月上旬にはインタラクティブ・ノートを作成しました。事前に用意された切り抜きで、重要な情報を要約し、整理することに挑戦しました。

Lauren (G7A)、Amy (G7A)、Carys (G7A)

LSP Grade 7

G7 I&Sでは、生徒たちは自然環境について学んできました。このユニットのキーコンセプトは「系統」であり、生徒たちは自然環境が相互に関連した系統としてどのように機能しているのかを調査してきました。授業では環境における種のつながりという重要な例について調べました。生徒たちは、ある特定の環境について食物網を作成し、種間のエネルギー移動と役割（生産者、消費者、頂点捕食者、分解者）に注目しました。種と環境が互いに依存し合っていることへの理解をさらに深めるため、G7の生徒たちは「エコシステム」と呼ばれるカードゲームに取り組みました。このゲームでは、生物多様性の重要さと、種が相互にもたらす恩恵を学びました。

LSP Grade 8

G8では、IGCSE入門の最終ユニットである地理が始まっています。このユニットでは人口変化過程と、それが人々や場所に与える影響について学びます。このユニットの入門として、生徒たちは人口密度と分布に影響を与える要因についてビジュアルディスプレイを作成しました。これまでのIGCSE入門ユニットには、歴史、経済、ビジネスがあり、生徒たちにとって、来年どのI&Sコースを選択するといいかヒントになるでしょう。

IGCSE Business Management

IGCSE Businessを学ぶことで、ニュースを見たり記事を読んだりする際に、このことが現実の出来事とどのようにリンクしているのかを知ることができました。総合的にこのコースは、企業がどのように運営され、組織化されているのかを学ぶことに興味を持っている人や、自分のキャリアパスについて迷っている学生にとてもお勧めします。このコースでは、さまざまなタイプのビジネスについて学ぶことができます。この写真は、人事ユニットの従業員マニュアルを作成するという私のプロジェクトの一部です。 —***Haruka*** *(G10B)*

IGCSE Economics

IGCSE Economics G10 の四半期最後として、生徒たちはマクロ経済学の理解をさらに深めるために複数のケーススタディに取り組み、アクティビティにも参加しました。この四半期の主なハイライトはコミュニケーション能力、議論力、批判的思考力を表現することが場となったディベートです。このディベートの目的は、グローバル経済における自由貿易の重要性を評価することでした。このディベートで生徒たちが主に習得できたのは、自由貿易に関する理解の向上と、人生の多くの場面で非常に重要な意味を持つディベートスキル向上でした。 —***Arham*** *(G10B)*

G10 Businessの学生のディベートの様子

次のページに続く

前ページの続き

IGCSE Geography

G9地理学科の生徒たちは、物理的環境（河川と海岸の環境）について学んできました。生徒たちは海岸地形の悪化に人間の関与を学んだので、生徒たちは海岸の保全よりも海岸の開発を優先させるべきかどうかについてクラスで討論をしました。

Isabel (G9B)、Satori (G9A)、Eunhoo (G9B)、Devika (G9B)

IGCSE History

IGCSE Historyでは、第一次世界大戦に関する学習を終了しました。生徒たちは、戦争の原因と経過に関する6、8、16マーク問題の書き方について理解を深めました。単元の最終週には、ドイツの敗戦の主な理由が何であったかをまとめるビデオをグループで作成しました。このプロセスでは、連合国の強みと中央勢力の弱みを評価し、戦争の全期間を振り返ることが求められました。

DP Business Management

DPビジネスの学生は、2年間のコースを通して、人事、マーケティング、財務、オペレーションを学びます。ポーターの基本戦略、フォースフィールド分析、アンソフマトリックスなど、経営管理ツールキットの活用を学ぶことで、知識と分析力を高めることが求められています。
現在私たちはマーケティングユニットを学んでいますが、このユニットではビジネスの4つのキーコンセプトの1つである「創造性」を大いに活用することが求められています。最近のアクティビティでは、KISTのすぐ近くにあるコミュニティのフィールドリサーチを行い、批判的思考スキルを使って、彼らのニーズを満たすような製品を作りました。
総合的に私はビジネスクラスの中であるたくさんの交流や、各生徒が常に議論に貢献していることを楽しみ、ビジネスの世界についての知識を深めることを楽しみにしています。 —***Sadhika*** *(G11A)*

(左>右) Aidan (G11B)、Rintaro (G11A)、Ethan (G11A)、Sadhika (G11A)、Naoki (G11A)、Lance (G11B)

DP Economics

ここ数週間、11年生ハイレベル経済学クラスでは、「企業の理論」ユニットの最初の部分について学びました。この単元では、企業がなぜそのように運営されるのかを学びます。まず、競争の激しい市場で企業がどのように運営されているかを探りました。このユニットの前半では、クラスの生徒たちが、競争市場の企業がどのように利益を上げ、損失を計上するかに基づいて授業全体を行いました。この授業を担当した生徒たちは、クラスのメンバーから質問を受けるなどして挑みました。型破りではありますが、双方向で魅力的な学習方法でした。 —***Lance*** *(G11B) and* ***Ruby*** *(G11B)*

G11 Economics完全競争図について議論する学生たちの様子

G11 Historyクラス、遊就館博物館にて

DP History

DPヒストリーの生徒たちは、日本統治時代の学習を終え、太平洋における第二次世界大戦についての学習を開始しました。2月20日には、日本史の遺物が展示されている遊就館博物館を訪れました。この校外学習で生徒たちは、日本の歴史におけるこの時代の役割や、博物館が皇室の歴史をどのように伝えているかについて考えることになりました。生徒たちは、展示されている遺物が選択的であること、南京大虐殺のような日本軍の暴力的な本質について触れていないことに気付きました。

次のページに続く

前ページの続き

DP Geography

Help4RefugeesのMr. Jordan HattarがG11を訪れ、人道的活動にはしばしば「傾聴」が重要であることを話してくださいました。Mr. Hattarは世界中の難民キャンプで暮らす人々への意識を高める方法について、非常に感動的なプレゼンテーションをしてくださいました。DP Geographyの生徒たちは、強制移住の原因と結果について学んでいます。このような現代的な問題についてはよく本を読みますが、難民の本当のニーズが何であるかを理解することは生徒にとって素晴らしい経験となりました。Mr. Hattarは、ヨルダンのシリア難民キャンプで主に働いており、弱い立場の人たちが、自分たちの体験談を聞いてくれている、認めてくれている、と感じられるように、他人の話に耳を傾けることがいかに重要であるかを語りました。
また、トルコ・シリア地震救済活動を支援するため、学生たちが募金集めをしたことを評価したいと思います。生徒達は自分たちの時間を割いて、複数のサービス間で協力し合い、この良い目的のためにお金を集めました。募金にご協力いただいた保護者、スタッフの皆さん、学生の皆さん、ありがとうございました。

Ms. CowieとG11 Geographyクラスと共にMr. Jordan Hattar（中）

Shota（G10B）、Teo（G9A）、Selin（G11A）とKiichiro（G11A）シリアとトルコ地震救援活動のための募金活動の様子

スタッフ10!

今月のStaff 10!では、**Emma Argentum**を紹介します。2016年8月からKISTでの勤務を開始し、最初はエレメンタリースクールK1のアシスタントとして、そして教員免許を取得した2020年8月からは担任として現在はK1Bを教えています。

1) 出身地について面白いことを教えてください。
私のホームタウンには、Rockingham Castleと呼ばれるお城があり、父はかつてそこに住んでいました！　父のベッドルームは小塔の一つの中にありました。幼少期、夏は祖父母と一緒にお城の庭で遊んで過ごしていました。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？
ディズニーランドです！ディズニーランドにいる時ほど魔法の力を感じる体験は他ではできません。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。
妹のMarieです。毎日会いたくなります。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？
残念ながらありません。ただ収集家として、友達には、レアなアイテムを見つけるすごい才能があると言われます。どこかで売っているものであれば、きっと見つけることができるでしょう！

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。
母はアマチュアのシアターグループに所属していたので、私はよく毎週日曜日に母と一緒にリハーサルに参加していました。そのおかげもあって、ブロードウェイやウエストエンドシアターが大好きです。

6) あなたにとって一番の宝物は？
私はファイナルファンタジーグッズの熱心なコレクターです。10歳のころからファンで、私が日本に最初に興味を持ったきっかけでもあります。1997年からの今までのグッズが2つのガラス戸棚に入っています! それらのグッズを見る時、幸せな気持ちになったり、懐かしく思ったりします。

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。
Caring（思いやり）！私はいつも、優しさに対してもっと大きな優しさで返すように心がけてきました。人生は短く、誰かの人生をより平和で幸せにすることができれば、それが自分の幸せに返ってくると思っています。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？
絶対嫌です。苦難や間違いから学び、一つ一つ自分が選んだ道から今の自分があります。私は13歳から日本に住み、インターナショナルスクールで働くという夢がありました。夢を叶えたことをとても誇りに思っていますし、ここまで来るのに与えられたすべての学びの機会に感謝しています。

9) 自分を高めるために今やっていることは？
最近デジタルドローイングを始めました。難しいですが、楽しんでいます。

10) ファンに一言お願いします。
好きなことをして、大切な人とちょっとふざけて、そして夢を叶えるために努力してください。

世界中で一番好きな場所で過ごしているMs Argentum

運動部最新情報

2022–23年冬シーズン終了

KISTのチームは関東地区リーグでの冬の全スケジュールを終え、3月の第1週にはISTAAバスケットボールシーズンを終えます。以下はコーチ陣による冬シーズンの短いまとめです。

JV男子サッカーチーム

今年のJVサッカーチームは、信じられないほど様々な結果に見舞われたシーズンでした。しかし一貫していたのは、どこに行っても素晴らしいフットボールとチームワークを発揮していたことです。今シーズン、私は非常に優秀な選手たちと一緒に仕事をすることができ、彼らは必要な時に力を合わせて素晴らしい結果をだしてくれました。
主にBST、ASIJ、St. Mary's と対戦しました。St. Mary's戦では、巧みなサッカーと賢明なゲームプレイのおかげで、勝利の大半を手にすることができました。しかしASIJとBSTは手強く、残念ながら今年は彼らを上回ることはできませんでした。また、日本史上最も風が強いとしか言いようのない夕方にLFITとの親善試合をしました。チーム内では、**Haruto**（G11A）、**Aidan**（G11B）、**Malhar**（G11A）の3人が、今シーズンの得点王に輝いたことも特筆すべき点です。
練習に参加された方、試合に出場された方、ありがとうございました。来年はどんな活躍がみられるか楽しみにしています。
—Coach Smith

MS女子サッカーチーム

今シーズンのMS女子サッカーチームは、6年生から8年生までの28名が参加し、過去最大の参加人数を達成しました。シーズンを通して、彼女たちはスキル向上に懸命に努力し、その成果は厳しい相手との戦いにも表れています。今年すべての女子生徒が見せた献身的に取り組む姿に特に感銘を受け、このグループが、KIST女子スポーツの成長をさせていくことと確信しています。来シーズンにまたピッチで会えるのがとても楽しみです。***—Coach Buck***

MS男子バスケットボールチーム

今シーズンは、MS男子バスケットボールチームの前向きなチーム環境を構築する上で、良いシーズンでした。多くの困難もありましたが、全員がそれを乗り越え、関東地区とISTAAの両リーグで、より競争力のあるチームに成長することができました。

MS男子バスケットボールAチーム

MS男子Aチームは1勝7敗でしたが、成績は彼らの大きな成長を反映していません。このうち3試合は延長戦にもつれ込み、全員がベストを尽くしたにもかかわらず、勝利を導く決定的なリードを奪うだけの持久力はありませんでした。しかしISTAAリーグでは、2勝1敗となり、努力が報われた結果となりました。MS大会ではBSTに25–16で敗れましたが、AJISを25–21で破り復活を遂げました。
MSの男子Bチームの実績も、全員の成長ぶりを感じさせました。試合は0勝6敗でしたが、練習中に自分たちのスキルを高め、まとまりのあるプレーをすることができました。St. Mary'sとの試合でも、我慢に我慢を重ねた結果、接戦に持ち込むことができました。みんなよくがんばりました。来シーズンを楽しみにしています。***—Coach Mahamed***

JV/HS男子・女子バスケットボールチーム

今シーズンは体育館がないため、KISTのバスケットボールチームは週1回、規定のコートより小さい地元小学校の体育館で練習をすることになり大変でした。女子は数回の練習をKISTのグラウンドで行いました。
とはいえ、KISTのチームは、初めての関東地区リーグにおいて、フルジュニアバーシティ（JV）バスケットボールシーズンで、非常に競争力を発揮しました。

JV女子バスケットボールチーム

JV女子はリーグ戦で1勝5敗となりましたが、プレーはすばらしく得点に結びつかなかったのが残念です。13点差で1敗し、4点差で4敗しました。その中で、Yokotaに15点差で勝利しました。ISSHで行われたJVトーナメントでは、KISTは第2シードの清泉と対戦し、第4クォーターを18–10でリードしていたのですが、その後歯車が狂い、20–18で敗退しました。ISTAA U-18リーグ戦では、KISTはまだ2試合しかしておらず、トーナメントまであと3試合あります。このチームなら、トーナメントで1位か2位に終われると期待しています。
JV男子は、関東リーグを2勝3敗で終了し、YISに44–43で敗れました。JV男子はCAJとSaint Maurに勝利しました。ASIJで行われたJVトーナメントで、KISTは第2シードのASIJと対戦し、6点差までリードしていましたが、37–32で敗れました。ISTAAリーグ戦では、男子はCISに快勝し、1勝1敗となりました。トーナメントまであと4試合あります。女子と同様、ISTAAトーナメントで1位または2位を獲得できる可能性はあります。最新情報は次号の*The Comet*でお届けします。***—Coach Ota***

コーチの皆さん、冬のシーズンを盛り上げてくれてありがとうございました!!

春シーズンスポーツ

KISTでは、関東地区春季リーグに向けて、すでにいくつかの春季スポーツを立ち上げています。ISTAAリーグのフットサルは4月にスタートします。以下のチームは関東地区リーグに参加しています。

- **MS女子バスケットボール（A・Bプール）**
- **JV女子サッカー**
- **MS少年野球**

試合結果、**チーム名簿**、**スケジュール**、その他の情報は、KISTコミュニティのメンバーであれば誰でも「KIST Athletics」のSchoologyで確認することができます。

Dennis Ota
Athletics Coordinator

保健便り

身につけよう応急手当

心肺蘇生法（CPR）および自動体外式除細動器（AED）の使用方法について

心肺停止の急病人が発生した際に、その場に居合わせた人が救急車（救急隊員）が到着する前に応急手当を行うことで、人の命が救われる事例が多く報告されています。一人でも多くの人が応急手当に関する知識と技術を身に付け実践できることが大切です。また応急手当ては、「社会的相当行為」として違法性を問われず、故意もしくは、重過失でなければ法的責任はありません。皆さん、怖がらずに積極的に応急手当をやりましょう！

CPRとその手順

もしもあなたの目の前で倒れたり、怪我をした人がいたら：

1 周囲の安全確認

2 反応をチェック：傷病者の肩をしっかりと叩き、大きな声で「聞こえますか？」と声をかけ反応（意識）を確認する。

3 周囲に人がいたら助けを求める。
A. 他の人に**119番通報**と**AED搬送**を依頼する。
B. 他の人が見つからず、自分だけの場合、スマートフォンをスピーカーにして救急車を要請する。

4 呼吸をしているか胸部の動きに注目する。
A. 通常呼吸：顔を少し下に向けた側臥位を取る。
B. 呼吸に異常：仰向けで胸骨圧迫を開始。

5 *胸骨圧迫：胸の真ん中の骨に片方の手の付け根を置き、その上にもう片方の手を重ね、力を一点に集中させ圧迫する。

6 AEDの電源スイッチを入れ、インストラクションに従う。
A. 電極パッドの1枚は胸の右上、もう1枚は胸の左下に貼る。
B. AEDが電気ショックが必要か解析している時は体に触れない。
C. 電気ショックが必要な場合は音声で指示されてから、ショックボタンを押す（電気ショックが必要ではない場合はボタンを押しても通電しません）。

*胸骨圧迫
圧迫の早さは一分間に100回程度の早いテンポ。「強く、速く、絶え間なく」圧迫する。救急隊員が引き継ぐか傷病者の呼吸が回復するまで胸骨圧迫は続け、数人の救助者が交代で胸骨圧迫を行う。

救命講習（きゅうめいこうしゅう）の案内（あんない）
救命入門コース90分：対象は10歳以上、無料、都内の各消防署に問い合わせが必要。
普通救命講習3時間：費用は1,500円、救命に必要な応急手当（心肺蘇生法／成人、及びAED取扱い、止血法など）に対する講義・実技訓練など。対象は中学生以上。修了者に認定証交付あり。問い合わせは：

Web 東京消防庁（https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kyuu-adv/life01-1.htm）

Yukiko Yamazaki
School Nurse

参考資料：
American Red Cross. (2022). *Adult First Aid: CPR/AED Ready Reference.*
https://www.redcross.org/content/dam/redcross/atg/PDFs/Take_a_Class/Adult_Ready_Reference_Card.pdf

KIST保護者会（CA）ニュース

ベイクセール（2022年12月）

CAより売り上げの一部はMr. Archerを通してG9のセカンドハーベスト・プロジェクトへ寄附されました。

コーヒーモーニング

1月9日（月）
G6～G9の保護者を対象にKISTセカンダリースクールにおいての「数学の進路」に関してのテーマで開催

2月23日（木）
G6～G9の保護者を対象に、「ミドルスクールのお子さんを、将来の大学進学に向けてサポートするために知っておいていただきたいこと」をテーマに開催

BASIC POLITENESS for Students and Families

ホリデーリースのチャリティワークショップイベント 2022年12月2日

IT講演会「（ISC）2 Safe and Secure Online」 2023年1月24日

HEARTｻｰﾋﾞｽｸﾞﾙｰﾌﾟ
CAは、トルコとシリアの地震支援募金を支援しました。

CA Members' Voice

去年、初めてボランティアに参加させて頂いて、子ども達はもちろん、先生方や地域との交流の場が増えた事でとても良い関係性を得ることができています。今後も多様性の環境が大切なのと、自分のスキルアップに繋がる喜びになると思います。今後もCAの取り組みを理解し、学校に関連する様々なことに、引き続可能な限りお手伝いしたいと思います。

—Yoshimi, Parent of Maru (K2A)

学校で行われている様々な活動についてより深く知ることができました。少しでも学校コミュニティのお役に立てていれば嬉しいです。平日仕事をしていても、空いた時間でできる仕事もあり、オンライン等を使用して様々な形でCAに参加できる事が知れてよかったです。

—Makiko, Parent of Ramya (G5A)

長年CAを務めてきた保護者の方々の献身的な姿を見て驚きました。ベイクセールは子どもたちや先生方にとても人気があり、たくさんのお金を集めることができました。コーヒーやお茶のサービスは、保護者と先生がリラックスして話せる環境を提供し、保護者の学校への理解や最新情報の必要性を促進するような、とても良い機会だと思います。

—Zheng, Parent of Yixuan (G9B)/Yicheng (G7A)

大学ガイダンスニュース

大学生入試の新情報は？（そしてそれが出願にどう影響するか？）

毎年この時期になると、大学などの教育機関では、半年後に始まる次の出願シーズンに向けての変更が行われます。昨年同様いくつかの大きな変化がありましたので、その中から何点か注目したいと思います。

オックスブリッジテストが変わります。

昨年はSATの内容変更に焦点を当てました。今年は英国のトップスクール、特にオックスフォードとケンブリッジを受験する人たちのために変更が発表されたのでお知らせします。

Cambridge Assessment Admissions Testing

大きな違いは?

ケンブリッジ・アセスメント入学試験—CAAT（オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、その他のトッププログラムの入学試験を提供するグループ）は、BMAT（医学）、ENGAA（工学）など、現在入試に必要な多くの試験提供を中止することを発表しました。これは2年かけて行われ、あるものはすぐに、あるものは翌年に廃止される予定です。以下が全リストです。

2023 affected tests
Classics Admissions Test (CAT)
Oxford ELAT
History Aptitude Test (HAT)
Mathematics Admissions Test (MAT)
Modern Languages Admissions Test (MLAT)
Oriental Languages Aptitude Test (OLAT)
Philosophy Test
Physics Aptitude Test (PAT)

2024 affected tests
Biomedical Admissions Test (BMAT)
Engineering Admissions Assessment (ENGAA)
Natural Sciences Admissions Assessment (NSAA)
Test of Mathematics for University Admissions (TMUA)
Oxford TSA

これは何を意味するのでしょうか？現在のG11以下の生徒はどのように準備すればいいのでしょうか？

2024年度卒業生 – いつもと同じように受験の準備をする。

CAATはもうこれらのテストを実施しませんが、大学は各校で手配するか、他のパートナーと協力してテストを実施する可能性が高いです。試験そのものを大幅に見直したり、中止したりすることはないと思われます。PATの準備をされている方はあきらめず、目標に向かって頑張ってください。大学側は6月までに正確な情報を更新する予定です。

2025年度以降の卒業生 – これらの試験のために、今から準備する必要はありません。英国の大学がどのような変更を正式に決定するか待ったほうがよいでしょう。今はよい成績を取ることに集中し、授業以外の活動にも力を入れ、自分らしくさを見つけることに時間を使った方がよいでしょう。

その他の質問や最新情報についてはいかがでしょうか？

以下のサイトで更新情報を確認し、今後の計画や手配に役立てることができます。

- Cambridge Assessment Admissions Testing
- University of Oxford Admissions Update Blog Post
- University of Oxford Admissions Assessments Page
- University of Cambridge Admissions Assessments Page

米国での入試はどうなる?

デジタルSAT – 昨年のこの時期にお伝えしたように、デジタルSATが登場し、今後、SATを受験する場合は、テストセンターにノートPC/タブレットを持参する必要があります。

What's Changing

Current SAT	Digital SAT
Taken on paper	Taken on laptop or tablet
Takes three hours	Takes two hours
Scores available in about two weeks	Scores available within days
Calculators allowed on one Math section	Calculators allowed on entire Math section
Score reports connect students with scholarships, college info, and practice recommendations	Score reports also connect students to workforce training and two-year college programs
Multiple students test on the same form	Unique test forms for each student

以下は今後判明しているテスト日程です。

注意点:

- *斜体*のテスト日程は暫定的なものであり、正式に決定したものではありません。
- KISTで実施されないテストは、東京近郊の他の場所で実施されます。学生は自分の都合の良いテストセンターに登録することができ、KISTで受験する必要はありません。
- G11以下の生徒には、G9の4月とG10の10月に実施されるPractice SAT（PSAT）に集中することをお勧めします。最初のSATは、通常G11の8月に受験するのがベストで、その前の夏に準備をするのがよいでしょう。

SAT test date	Registration deadline	Note
March 11, 2023	February 28, 2023	
May 6, 2023	April 25, 2023	*Not at KIST
June 3, 2023	May 23, 2023	
August 26, 2023	*August 11, 2023*	
October 7, 2023	*September 22, 2023*	
November 4, 2023	*October 20, 2023*	*Not at KIST
December 2, 2023	*November 17, 2023*	
March 9, 2023	*February 23, 2023*	
May 4, 2024	*April 19, 2024*	*Not at KIST
June 1, 2024	*May 17, 2024*	

次のページに続く

前ページの続き

大学進学のための資金調達と"need blind" vs "need aware"の意味

世界中のほとんどの大学が、経済力を入試には結びつけませんが、アメリカでは必ずしもそうではありません。特に留学生に関しては、家庭の経済力を考慮して入学を決定する学校もまだ多くあります。そのような方針がない場合でも、必要な経済的負担を総合的に判断し、将来の計画を立てる際に、何が可能で何が不可能か、あらかじめお子さんと話し合っておくとよいでしょう。

"Need blind"と"Need aware"の意味とは？どうすればいいのか？

Need blindとは、大学が入学を決定する際に、あなたの経済状況を考慮してはいけないという意味です。これは世界の他のほとんどの地域では標準的なことで、学校はあなたを受け入れ、必要な学費の詳細を送り、あなたが入学するかどうかを決めることができます。**Need aware**というのは、学校は税務書類、現在の銀行明細書、給与明細書など、その他をも含むあなたの財務状況を尋ねるということです。学校側があなたのお子さんが学校にとって最適かどうかに関わらず、経済的な懸念が少しでもある場合、より支払い能力の高い同レベルの生徒にオファーを出すこともあり得ます。

ではどうするか?

出願の際にはその学校の方針に関係なく、学校側に正直な情報を提示することが重要だと思います。何よりもまず、最高の機会を与えてくれると思う学校のリストを作りましょう。ある学校が**Need aware**だからといって、経済的に余裕のない生徒が入学を拒否されるとは限りません。同様に**Need blind**の学校は、必ずしもすべての生徒に奨学金を提供しやすいというわけではありません。**もし経済的な余裕がないのであれば、そのような質問をされたときに、大学側に率直に伝えるのが一番です。私ならランキングで少しでも上位の学校に行きたいがために、家族に多大な経済的負担をかけたり、学生に成績のプレッシャーをかけたりするようなことはしたくありません。**

経済的に検討できる学校を知るにはどうしたらいいのでしょうか？

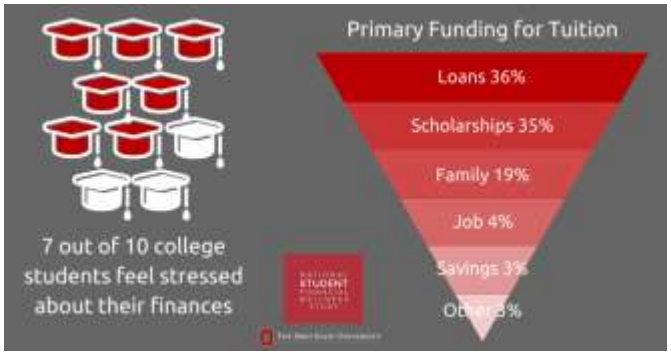
世界各国にある学校は、大学にかかる費用について非常に正直に説明しています。またほとんどの場合、学費の全額を自己負担することなく、奨学金が嬉しいボーナスとしてオファーされます。とはいえ多額の奨学金をオファーしてくれる競争力の高い学校をターゲットにしつつ、万が一に備えて、予算に応じて手頃な価格で通える学校を予備に選んでおくのもよい方法かもしれません。このリストは米国有名校、留学生対象奨学金制度の支給率が記載されています。米国内外の学校については、概算の学費と奨学金制度を一つずつ確認するのもよいでしょう。意外な発見があるかもしれません。

高額な学校に合格し、最終的な費用が自分たちの手の届く範囲を少し超えた場合、どのように動けばいいのでしょうか。

もしご家庭で「年間いくらまでが妥当か」という話をすでにしているのであれば、この段階でかなり話が進みます。前項で述べたように、あまりにも手の届かないものに手を出すのは家族に精神的な負担をかけることになるのでお勧めできません。同様に、学生は授業の再履修や専攻の変更など、家計に大きな負担をかけることを心配することなく、大学での生活を楽しむべきです。

提案:

- **正直に**いくらぐらいが妥当か**予算を**早くてもG9**までに決める。**生徒たちが現実的なリサーチができるようになります。
- 検討の余地があるなら、家族が永住権を持つ国の**銀行から低利融資受けられます。**親と生徒のどちらが残金を支払うべきかについて計画することは、生徒が期待されることを理解しながら、より賢明な選択をするのに役立ちます。経済状況が変われば気まずい思いをすることもありますが、学生の理解力を甘く見てはいけません。学生は問題があることをよく認識しており、状況を悪化させるのではなく、助けるために努力することを好むことが多いのです。
- **最大7割の学生が大学に関する経済的なストレスを感じており、**大学での成績低下や卒業・進路の見通しの低下に繋がっています。



2023年3月24日、KISTファミリーを対象としたケンブリッジ大学訪問。

このお知らせで初めて知った方で参加がご希望の方、まだ間に合います。ケンブリッジ大学訪問へのお申し込みはこちらからできます。前回の直接訪問から3年以上が経過し、再び彼らを迎えることができることを嬉しく思います。G8～11の生徒とKISTの保護者の方であれば、どの学年からでも参加可能です。会場でお会いできるのを楽しみにしています。

日程: 金曜日、2023年3月24日
時間: **午後**4:30から6:00まで
場所: 森下文化センター、多目的ホール（江東区森下3-12-17）
講演: Olivia Matthewson、Regional Manager East Asia、Cambridge Admissions Office

以下のトピックを紹介する予定です。

- ケンブリッジ大学での留学はどんな感じですか？
- 費用はどのくらいかかるのでしょうか？
- どのような成績が必要ですか？
- どのように出願するのか？
- 合格の可能性を最大限に高める方法

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。何かご不明な点がございましたら、下記の連絡先からご連絡ください。

Thomas Waterfall
University Counselor
thomas.waterfall@kist.ed.jp